

「福、笑う」農空間を次代へ継承するために

東日本大震災からの復旧・復興に関しまして、全国からの温かい御支援のおかげで福島の復興は着実に前進しましたが、今もなお、復興は途上にあります。被災地では、道路・鉄道などの公共インフラの復興は進展し、新しい生活を取り戻した地域や被害の傷跡が目立たなくなった地域がある一方で、12年を経過した今でも、除染の目処すら立っていない復興が未だに手つかずの地域も存在します。

これを「光」と「影」に例えて、この「影」の部分をも少しでも早く、明るくしていくことが我々「農村振興技術者」の使命だと考えております。

今年度は4県7名の方に福耕支援隊として駆け付けていただきました。コロナ禍により行動が制限される中ではありましたが、その活躍ぶりを今回の福興レターでお届けします。

これまでの御支援に心から感謝申し上げますとともに、皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



福島県農林水産部次長（農村整備担当） 宍戸 潤一

福耕支援隊の皆さん 集合！！



福耕支援隊へインタビュー

「青森県 水木健裕技師」、「静岡県 大内和也技師」、「青森県 外崎徳三主査」の3名に福島の印象や生活などをインタビューしました！

Q2

現地を来て見た感想・印象はいかがでしたか？

工事の発注ロットが大きく、今後青森でも手を付けることのない金額を触ったかもしれない。おかげさまで大変忙しく(笑)過ごしました。毎日勉強の日々でした。そして、まだ制限区域もあるのも実状。福島県の生まれ変わりに携われたのはすごく大きな経験です。

Q1

担当業務を教えてください

ほ場整備の最盛期である「太田地区」(南相馬市原町区)の担当です。面工事2つで43haの、パイプライン実施設計委託を1本経験させていただきました。



農村整備第一課

青森県

水木 健裕技師

Q4

最後にメッセージをお願いします。

最近全国的にもアツい青森県です。春は弘前さくらまつり、8月の火祭り青森ねぶた、秋の燃える十和田の紅葉、冬にはあつついお風呂が待っています。気合いを入れないとなかなか来られない距離ですが、折角の御縁です。是非、遊びに来てください。沢山のおもてなしグルメ、青森の方言と空気と、私は明るさで、全力でおもてなしします。忙しいのは重々承知ですが、心身共々、健康に留意されてください。自分に一番近い自分の声を聴きながら無理はほどほどに。健闘をお祈りしています。

Q3

福島県のお気に入りやお勧めは見つかりましたか？

日本酒。ラーメン。餃子：ただの酒飲みみたい。広い広い福島県の3割ぐらいは体験できたかな。滝桜も、漁港の花火も、紅葉も、雪灯籠も。海も山も。綺麗な景色にも沢山足を運べました。

福耕支援隊へインタビュー

Q1

担当業務を教えてください

南相馬市内で実施されている、復興基盤総合整備事業の原町東地区、高平中部地区、馬場西地区の計3地区について各1件ずつ工事発注・監督を担当しています。

Q2

現地を来て見た感想・印象はいかがでしたか？

南相馬市について地震や津波の被災地というイメージを持っていましたが、4月に初めて来たときに事務所周りの町並みを見ても被災の跡が全く感じられませんでした。しかし、海岸の近くでは家が少なくなり、道路や構造物のひび割れや沈下が残されたままの場所もありました。

東日本大震災以来、何度か大きな地震が発生しており、その度に進めてきた復興への足取りが後退しているという辛い状況の中でも復興のために尽力し、さらには福島イノベーション・コースト構想を基に先進技術への取組を続けている姿は見習いたいです。



農村整備第二課

静岡県

大内 和也 技師



Q3

福島県のお気に入りやお勧めは見つかりましたか？

温泉が好きで、この1年で入った中では飯坂温泉、会津東山温泉、磐梯熱海温泉は特に温泉街として雰囲気があって楽しかったです。会津地方にも何回か行きましたが、本場の喜多方ラーメンや山都そばが美味しかったので、まだの人は食べてみてください。

Q4

最後にメッセージをお願いします。

東日本大震災を契機に様々な問題が全国に波及し、静岡県でも防潮堤やため池の耐震化を喫緊の課題として対策工事を進めています。

南海トラフ地震が近い将来に発生することが予想されていることを踏まえ、この復興支援の業務経験を風化させることなく、被害を最小限に抑える方法について考えていきます。

福耕支援隊ヘインタビュー

Q1

担当業務を教えてください

原発20km圏内の南部農地復旧を担当しています。
葛尾地区は、実施設計、境界測量の委託発注業務AⅡ47・6haを担当し、2業者が決まりました。
小高東部地区は、暗渠排水工AⅡ31・4haと区画整理工AⅡ4・5haの工事発注業務（4工区に点在）を担当し、業者が決まりました。

Q2

現地を来て見た感想・印象はいかがでしたか？

農村整備第三課では10地区あり地盤が悪く、盤上げしなければならぬ地区が多いことに驚いています。



農村整備第三課

青森県

外崎

徳三主査

Q3

福島県のお気に入りやお勧めはありますか？

「福、笑い」の米はおいしいので、また持ち帰りませう。
研修で訪れた「水産試験場」のアワビの稚貝の養殖、福島水素エネルギー研究フィールドの水素で動く自動車と太陽光発電、大内宿の1本ねぎで食べるそばなどがおすすめです。

Q4

最後にメッセージをお願いします。

早く復旧・復興し、正常な生活が戻ることを祈ります。
青森の津軽地方は雪が多いので、点工事では、シートで覆い工事を行います。

これまでの福耕支援隊の支援体制(配置人数)

区分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度	
	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称
農林水産省	8局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州、沖縄	8局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州、沖縄	7局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、沖縄	7局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、沖縄	7局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、沖縄	8局	北海道、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州、沖縄
派遣元 都道府県	27道府県	北海道、青森、栃木、群馬、新潟、静岡、富山、石川、福井、長野、山梨、岐阜、滋賀、愛知、京都、大阪、鳥根、岡山、広島、山口、愛媛、香川、福岡、長崎、大分、宮崎、沖縄	16道県	北海道、青森、秋田、栃木、群馬、埼玉、神奈川、新潟、山梨、長野、滋賀、山口、愛媛、福岡、大分、沖縄	12道県	北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、山梨、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	11道県	北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	11道県	北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄	11道県	北海道、青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、滋賀、山口、愛媛、大分、沖縄
市町村	/		3市	新潟県新発田市 富山県富山市 富山県南砺市	6市	新潟県新発田市 富山県富山市 新潟県小千谷市 富山県南砺市 長崎県諫早市	4市	新潟県新発田市 富山県富山市 福井県大野市 長崎県諫早市	4市	新潟県新発田市 福井県大野市 岡山県総社市 長崎県諫早市	3市	福井県大野市 岡山県総社市 長崎県諫早市
派遣先 県			2事務所	県中農林事務所 相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所
派遣先 市町村	5市町	須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町	7市町	須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町、榎葉町、浪江町	7市町	須賀川市、相馬市、南相馬市、広野町、新地町、榎葉町、浪江町	6市町	相馬市、南相馬市、広野町、新地町、榎葉町、浪江町	6市町	相馬市、南相馬市、広野町、新地町、榎葉町、浪江町	7市町	相馬市、南相馬市、広野町、新地町、榎葉町、浪江町、川内村
人数	294名		353名		307名		258名		241名		196名	
区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称	箇所数	名称
農林水産省	7局	東北、関東、北陸、東海、近畿、中国四国、九州	5局	東北、関東、東海、近畿、中国四国	2局	東北、中国四国	1局	東北	1局	東北	1局	東北
派遣元 都道府県	10道県	青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、神奈川、滋賀、愛媛、大分、沖縄	10県	青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、長野、静岡、滋賀、愛媛、沖縄	9県	青森、秋田、栃木、埼玉、新潟、長野、静岡、滋賀、沖縄	7県	青森、秋田、埼玉、新潟、静岡、滋賀、沖縄	7県	青森、秋田、埼玉、新潟、静岡、滋賀、沖縄	4県	青森、新潟、静岡、滋賀
市町村	2市	長崎県諫早市、鹿児島県日置市										
派遣先 県	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所	1事務所	相双農林事務所
派遣先 市町村	5市町	相馬市、南相馬市、新地町、榎葉町、浪江町	5市町村	南相馬市、新地町、榎葉町、浪江町、飯館村	5市町村	南相馬市、富岡町、榎葉町、浪江町、飯館村	2町村	浪江町、飯館村	2町村	双葉町、飯館村	2町村	双葉町、飯館村
人数	97名		65名		17名		13名		13名		9名	

福島県 福耕支援隊

東日本大震災から12年を経過する令和4年度を振り返り、当管内の主なトピックを3つ書き出してみました。

1. 3町村の帰還困難区域の一部（特定復興再生拠点）で避難解除

葛尾村（令和4年6月）、大熊町（6月）、双葉町（8月）の帰還困難区域の一部で避難解除が行われました。特に双葉町では町外に移転していた役場機能が町内に戻り、震災前からほ場整備の構想があった地域で、事業実施に向けた話し合いが再開しました。

2. 6地区の新規ほ場整備に着手

4つのほ場整備事業地区と、ほ場整備工事を主とする2つの中山間地域総合整備事業地区が新規着工となりました。これらの地区を含め、令和4年度は31地区ではほ場整備を進めました。また、深野北地区（南相馬市原町区）が今年度完了予定です。

3. 3年連続の大規模自然災害発生

令和4年3月16日夜、管内で最大震度6強の地震が発生し、農業用ダム2箇所では基幹水路が被害を受ける等、農業用施設被害は240箇所及びました。水稻栽培開始直前の被害であり、前述のダム2箇所では約800haの農地への用水供給が危ぶまれましたが、国等の支援を受けて迅速に応急工事を進め、例年通りの作付けを行うことができました。

令和元年東日本台風、令和3年2月福島県沖地震（最大震度6強）に続く3年連続の大規模災害でしたが、組織としての対応力も向上しているようです。

これらは令和4年度に限った復旧・復興の成果ですが、12年の長きに渡って福耕支援隊の皆さんから頂いた、応援の一つ一つが導いてくれた成果でもあります。

来る令和5年度は、継続する復興事業地区の一日も早い早期完了を目指すことと、新たな避難指示解除地域における営農再開の取組を農業農村整備の面から支援していくことが、当事務所農村整備部の使命と考えています。

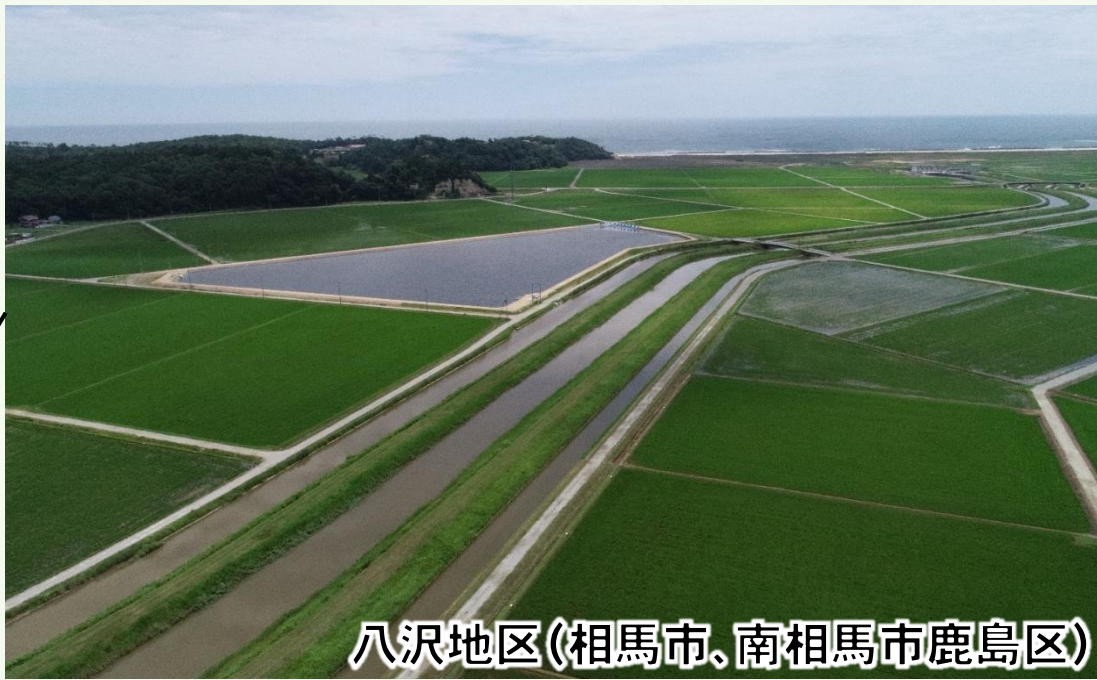
本県の復旧・復興のみならず、世界的に大きな足枷であったコロナ禍も、新年度には一つの区切りを迎えるとのこと。これを機に復興を更に加速し、皆様がこの地域を再び訪れる機会があったなら、力強い復興の姿を紹介できるよう職員一丸となって邁進して参りますので、引き続き皆様の御支援・応援を賜りますようお願い申し上げます。

相双農林事務所 農村整備部長 先崎 秋実

東北地方太平洋沖地震災害 災害復旧執行状況（相双農林事務所）R5.3時点

区分	最新事業計画		着手箇所・事業費			完了箇所・事業費			未着手箇所・事業費		
	箇所数	金額 (百万円)	箇所数	進捗(%)	金額 (百万円)	箇所数	進捗(%)	金額 (百万円)	箇所数	金額 (百万円)	
県営	海岸災害復旧事業	30	28,357	30	100%	28,357	30	100%	28,357	0	0
	農地(区画整理)	98	13,926	98	100%	13,926	89	91%	12,536	0	0
	農業用施設(区画整理)	31	561	31	100%	561	31	100%	561	0	0
	農業用施設	45	14,309	45	100%	14,309	45	100%	14,309	0	0
	県営災害計	204	57,153	204	100%	57,153	195	96%	55,763	0	0
団体営	農地	170	11,000	162	95%	7,169	162	95%	7,169	8	3,831
	農業用施設	421	6,311	409	97%	5,127	408	97%	5,102	12	1,184
	団体営農地・施設	591	17,311	571	97%	12,296	570	96%	12,271	20	5,015
	農業集落排水施設	21	2,292	21	100%	2,292	21	100%	2,292	0	0
	除塩	61	136	61	100%	136	61	100%	136	0	0
	団体営災害計	673	19,739	653	97%	14,724	652	97%	14,699	20	5,015
合計	877	76,892	857	98%	71,877	847	97%	70,462	20	5,015	

農業農村整備 復旧・復興のあゆみフォト



八沢地区(相馬市、南相馬市鹿島区)



原町東地区(南相馬市原町区)



原町南部地区(南相馬市原町区)

農業農村整備 復旧・復興のあゆみフォト



福耕支援隊としての 1年間

また一つ思い入れの
ある地ができました



課長 志田 佐織 (静岡県)

静岡県から派遣された志田佐織です。初めて現場整備を担当しましたので戸惑うことがそれはそれは多く、至らないことばかりでしたが、周囲の皆様の御協力をいただき1年間を過ごすことができました。とは言え、地区が始まって1件目、2件目の取り組みやすい工事をやり散らかして出ていく感はありません。後任の方に多大な御迷惑をお掛けすることに対し、すでに懺悔の気持ちに苛まれています。

東北には縁も所縁もなく、旅行で数回来た程度。中でも福島は未踏の地で、今回派遣に手を挙げた理由を正直に言うならば、「南海トラフ地震の後」を疑似体験するという不純な動機からでした。

しかし、規模の大きな工事、膨大な予算、次々立ち上がる新規地区：と目の前の業務に追い立てられ、日々を過ごすだけで精一杯。静岡と重ねて何かためになることを考え持ち帰るところまではとても至れず、この年度末を迎えました。

業務以外では、地元では見かけない食べ物に出会う楽しみがありました。アオサノリの天ぷらがもちもちで感動したり、ホッキ貝を捌こうとして挟まれた指が抜けず、持っていけると絶



▲流量観測を実施する志田主査

望したり。たくさんさんの品種の桃も、ふるまっていたいただいたガニマキやキジ鍋も素晴らしく美味しくっていい思い出になりました。カレイの刺身と福とら（天然のトラフグ）を食べられなかつたことは心残りですので、近いうちにリベンジに来ようと思います。どうかこうにか一年を過ごして、私にとってまた一つ思い入れのある地ができました。関わってくださったすべての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

静岡に帰っても福島県産品を食べては想いを馳せ、再び訪れることで、復興の一助になれば幸いです。

福耕支援隊としての 1年間



農地計画課 山田 直明 副主査 (滋賀県)

滋賀県から派遣されました山田直明です。平成23年3月11日の東日本大震災が起きたときは、まだ学生で、関西においても非常に混乱していたことを覚えています。この地震から12年が経過しようとしています。令和4年によく避難指示が解除される地域があるなど、復興・復旧はまだまだ

一方、特定復興再生拠点区域の除染後農地において、水稲などの試験栽培に取り組まれるなど着実に前に進む明るいニュースを見聞きし、その復興・復旧の一部分ですが携われていることにうれしく思いました。

その復興の仕事においては、団体営災害復旧事業の災害査定や計画変更など様々な業務に従事し、短期間に多くの箇所について災害復旧事業の作業・手続きをするというこの事業の難しさを体験しました。そして、普段馴染みのない、ため池や橋梁、農業集落排水など様々な工種の災害復旧事業の審査指導業務に携わることができたのは、非常に貴重な経験になりました。

この仕事について、なかなか不慣れた状態でしたが、福島県の皆様には、事業の流れや仕組み、予算などなど、いろいろなことを丁寧に教えていただき、感謝しております。

また、東日本大震災の災害復旧事業だけでなく、ここ数年毎年のようにあ

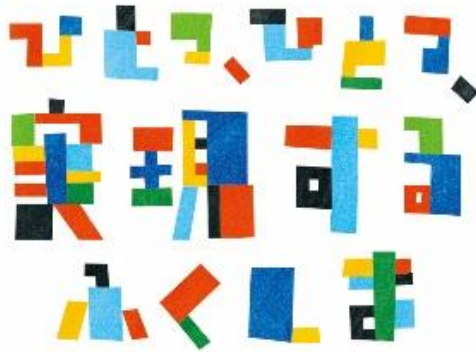
る大規模な災害の災害復旧事業を経験する中で、災害というのは「いつ」「どこで」「どのような」ことが起こるか分からないもので、それは、滋賀県でも起こりうるものであり、ここでの貴重な経験を活かしていきたいと思っています。

私生活においては、福島県内の各地において、見て、食べて、飲んで、温泉に入ると福島をかなり満喫しています。中でも趣味である登山では、関西からでは、なかなか行けない山にたくさん行くことができ、なかでも安達太良山の紅葉や雄国沼のニッコウキスゲは、とてもきれいで感動しました。

この一年で、福島のたくさんの美味しい食べ物や日本酒、自然などの魅力を体験してきましたが、まだまだ、食べたい飲みたい物、体験したいことがありますので、今後も福島の様々なことに関心もっていききたいと思っています。



▲雄国沼のニッコウキスゲ



震災から10年を機に、
福島県は、「ふくしまからはじめよう。」からの
バトンを渡す、新スローガンを策定しました。
「はじめる」から、「かなえる」へ。
ひとりひとりの力を重ね、それぞれの思いを繋ぎ、
ともに、ひとつずつ、しっかりと、
カタチにし続けていこうと。

全国農村振興技術連盟会員の皆様や台湾農田水利会連合会からの義
援金をはじめ、多大なるご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

発行元：福島県農村振興技術連盟
(編集 福島県農村計画課)
電話：024-521-7406
FAX：024-521-7545